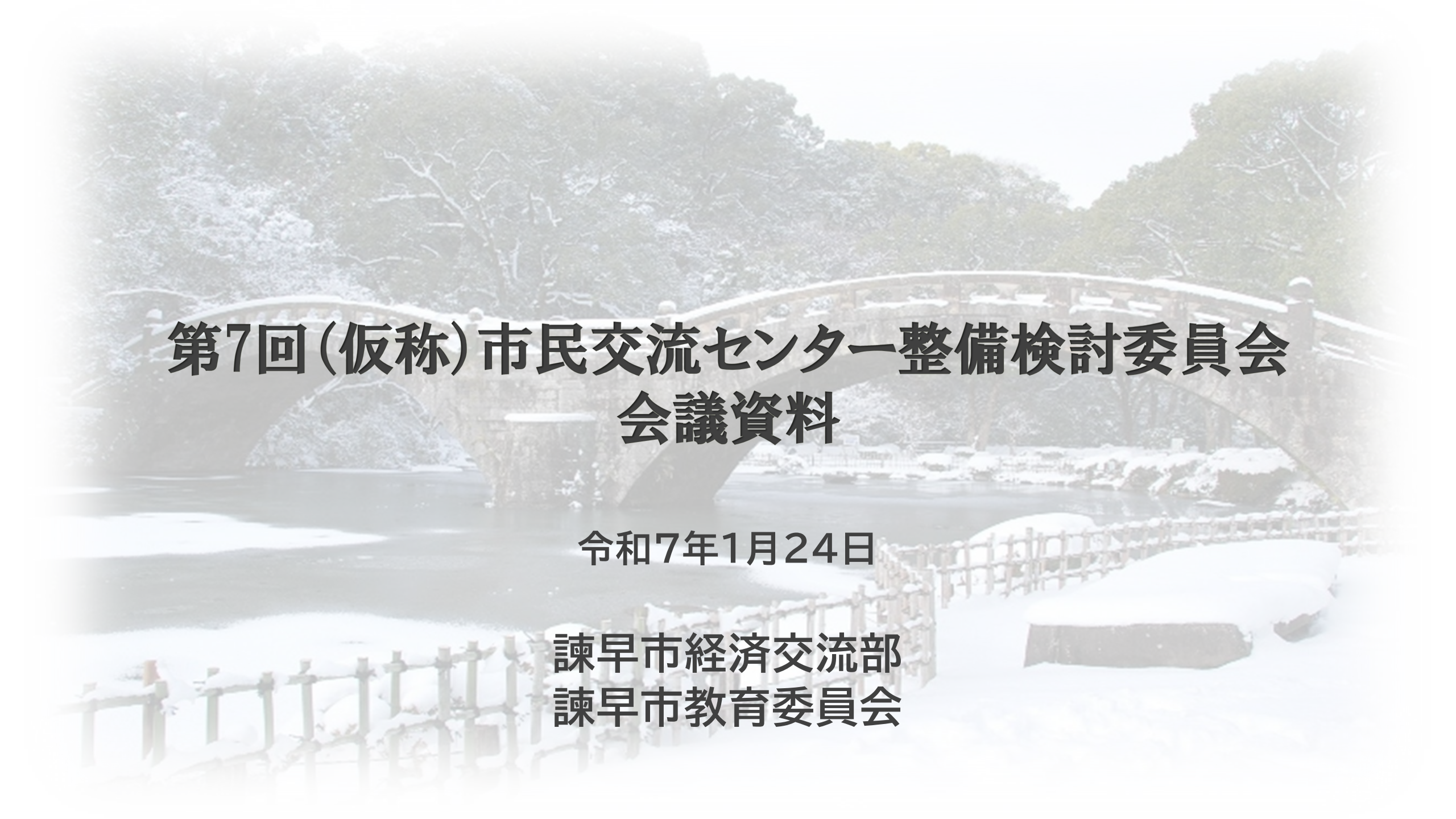




第7回(仮称)市民交流センター整備検討委員会 会議資料

令和7年1月24日

諫早市経済交流部
諫早市教育委員会

1 第6回整備検討委員会以降の 取り組みについて

○前回以降の取り組みについて

【地元自治会】

年度	日付	行事	主な内容等
令和5年度	R6. 2. 15	自治会連合会中央支部	基本構想及び事業概要の説明
令和6年度	R6. 4. 11	自治会連合会役員会	基本構想及び事業概要の説明
	R6. 7. 30	天満町自治会	基本構想及び事業概要の説明

【市議会】

年度	日付	行事	主な内容等
令和5年度	R6. 3. 13	経済建設委員会協議会	3月議会において 基本設計予算を当初予算に要求 整備検討委員会の議題について説明、予算可決
令和6年度	R6. 5. 20	全員協議会	基本構想策定を報告
	R6. 12. 11	経済建設委員会協議会	12月議会において 公募型プロポーザルで基本設計者を募集する旨報告

○前回以降の取り組みについて

【庁内調整】

○庁内関係課への説明会

○庁内関係課との個別協議

【国・県】 財源協議

○社会資本整備総合交付金

- ・ 国交付金を活用するため諫早中央地区都市再生整備計画の協議を継続中

2 基本設計について

○基本設計について

○市が提案する施設条件

施設規模	延べ面積:5,300㎡ 程度	
施設の機能	ホール機能、生涯学習機能、防災機能、交流機能	
整備スケジュール	令和6年度	設計者選考手続
	令和7年度	基本設計
	令和8年度	実施設計
	令和9年度	建設工事着手
	令和12年度	供用開始予定
建設事業費(概算)	55億円(消費税及び地方消費税含む)	
業務内容	建物基本設計、敷地測量、地質調査、 野口彌太郎作陶板壁画の活用検討業務	

○基本設計について

○基本設計の発注方式の検討

選定方式	①設計協議（コンペ）	②プロポーザル	③価格競争
特徴	具体的な設計案を審査し、設計者を選定。	事業所の能力や提出された技術提案等を審査し、設計者を選定。	発注者が示す仕様を満たす競争参加者の中から、最低の価格者を落札者として選定。
評価対象	最も優れた設計案	最も適切な技術力、経験などをもつ設計者（人）	設計料
メリット	複数の具体的な設計案の中から最も優れた案を選ぶことができる。	技術提案に基づいて設計を進めることができ、具体的な設計にあたって発注者と設計者の協議により柔軟で質の高い設計が期待できる。	公平性・公正性・透明性が高く、発注者の恣意性が働く余地がない。また、発注物の内容があらかじめ特定され、結果の同一性が保証される場合には、経済的に選定できる。
デメリット	設計案を選定しているため、その後の設計過程で大幅な設計変更は不可。	価格競争方式に比べ選定までの時間が長く、判定基準が難しい。	発注段階で事業の成果の形が決まっている際に採用するため、設計者の技術提案による付加価値の余地が少ない。

○基本設計について

○審査の方法

	1 次審査	2 次審査
審査対象	設計事務所の業務実績、予定技術者及び業務実施体制	企画・技術提案書
選考方法	書面審査	プレゼンテーション及びヒアリング
選考過程	非公開	非公開
選考者	事務局（文化振興課）	市長が選任する学識経験者、地域住民代表、市職員で構成する選定委員会（名簿非公開）
選考結果	5 者程度選定し公表	特定者 1 名、次点者 1 名を選定し公表

○基本設計について

●参加資格

一級建築事務所の登録を受けており、元請けとして以下の施設の基本設計又は実施設計の実績があること

①「劇場施設(プロセニウム型舞台を有する座席数500席以上の劇場)」

②「映画館、劇場(上記劇場施設を除く)、美術館、博物館、図書館」で

延べ床面積3,000㎡以上

●1次審査の内容

①設計事務所の業務実績、技術者数、地域精通度

②予定技術者及び業務実施体制

○基本設計について

●2次審査の内容

①業務実施方針、体制、業務工程

②技術提案書

- ・敷地の利活用、施設の配置計画について
- ・施設計画について
- ・環境配慮やライフサイクルコストについて
- ・その他

③業務価格提案書

○技術提案にあたって留意事項

(1)諫早市行政計画

- ・第2次諫早市総合計画 等

(2)本事業に関する構想・計画

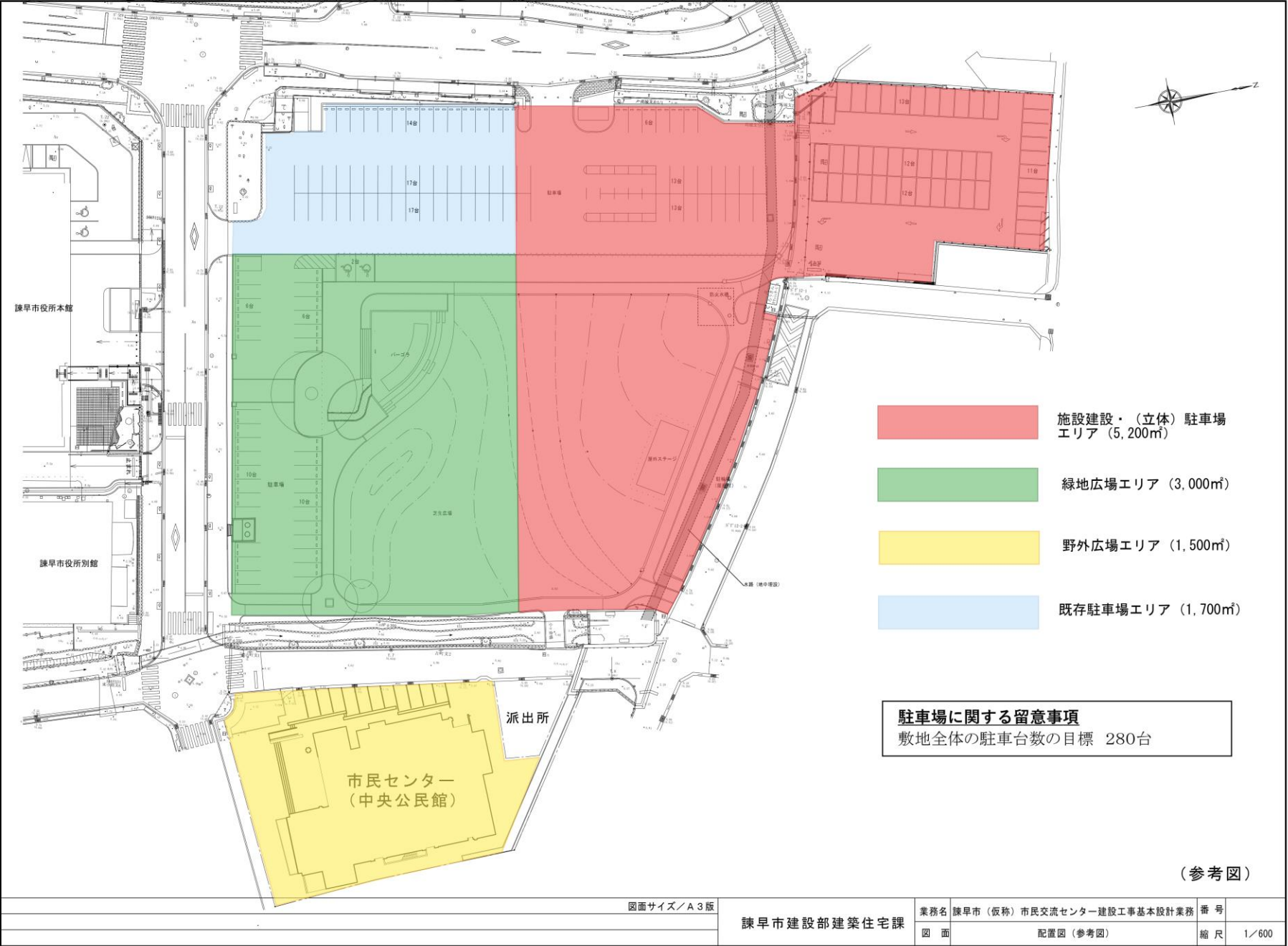
- ・(仮称)市民交流センター基本構想

(3)市民の皆様のご意見

- ・(仮称)市民交流センター整備検討委員会
- ・関係機関への説明会
- ・市民アンケート
- ・市民ワークショップ

○基本設計について

○技術提案計画範囲図



○基本設計について

○技術提案を求める主な導入機能

施設種別	スペース名		想定される面積案（㎡）	
ホール機能	A	ホール	850	1,700
	B	ホワイエ	300	
	C	バックヤード	400	
	D	楽屋	150	
生涯学習機能	E	講堂	400	1,220
	F	練習室	150	
	G	講座室	230	
	H	キッチンスタジオ	70	
	I	和室	70	
	J	会議室	300	
交流機能	K	市民ロビー	400	630
	L	チャイルドコーナー	80	
	M	カフェ・ショップ	150	
共用	N	事務所	100	170
	O	倉庫	70	
	P	共有スペース	-	-

○基本設計について

○応募審査スケジュール

実施要領公告	令和6年12月18日(水)		
参加表明書等提出期限	令和6年12月18日(水)	～	令和7年1月17日(金)
参加資格審査 一次審査結果通知	令和7年1月27日(月)		
企画・技術提案書提出期限	令和7年2月28日(金)		
2次プレゼンテーション	令和7年3月上旬		
2次審査	令和7年3月中旬		
最終結果発表	令和7年3月下旬		
契約締結	令和7年3月下旬		

3 今後のスケジュールについて

○令和7年度のスケジュール

○基本設計の具体的な進め方について

設計期間	令和7年4月～令和7年12月(約9か月)
主な業務	与条件の整理、ボリュームの検討、設計コンセプトの検討、 配置・ゾーニング・平面計画の決定、立面・断面・構造・設備計画の決定、 工事工程の検討、基本計画書の作成
成果品	基本設計書

○令和7年度のスケジュール

○整備検討委員会の開催予定

第7回	令和7年1月24日(金)	基本設計公募型プロポーザルの実施概要
第8回	令和7年7月(予定)	施設の配置・ゾーニング・平面計画(案)について
第9回	令和8年1月(予定)	基本設計書について

今後の予定（案）

